

シニアのみなさん 着衣着火に気をつけて！

活動的なシニアの方が増えていますが、高齢になると、身体機能の低下等により、ちょっとしたことで大きな事故につながりやすくなります。

中でも、着ている衣服に火が燃え移る「着衣着火」は、大変危険です。着衣着火による火災死亡者のほとんどが 65 歳以上の方々であり、調理中をはじめ、さまざまな場面で発生しています。

＜着衣着火の事例＞

- ガスコンロの向こうに食材が落ちたので、とっさに手をのばしたら、ワイシャツの袖にガスコンロの火がついた。(60 代男性)
- 調理中にコンロに近づきすぎて火に触れて、化学繊維のエプロンが溶けた。(60 代女性)
- 反射式石油ストーブの前で横になっていたところ、セーターの腹部が焦げていた。(70 代男性)
- 仏壇の掃除中に、ろうそくの火が寝間着の袖に燃え移り、右半身に大やけどをした。(80 代女性)



事故を防ぐポイント！

- (1) 火の使用時は、マフラー・ストールなどは外し、すそや袖が広がっている服等を着ているときは、特に注意しましょう。
- (2) ガスコンロ等のまわりは、整理整頓※をし、鍋等の底から炎がはみ出さないようにしましょう。奥にある物を取るときは、こまめに火を消しましょう。
※消防関係法令では、ガスコンロから可燃物までの距離(前方・後方・側方 15cm 以上、上方 100cm 以上等)が定められています。
- (3) 仏壇の灯明など、火を使わない電気ろうそく等の活用も検討しましょう。
- (4) 火が接しても着火しにくい防災品のエプロン、アームカバー等を使いましょう。



★関連情報★

生活文化局消費生活部生活安全課 ヒヤリ・ハット調査「シニア世代における衣服・履物の危険」

http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/documents/hokokusho_senior2.pdf

東京消防庁 STOP! 住宅防火シリーズ ① 「STOP! 着衣着火」

http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/topics/bouka/data/download_stop_tyakui.pdf

問合せ先 生活文化局消費生活部生活安全課

TEL 03-5388-3082